

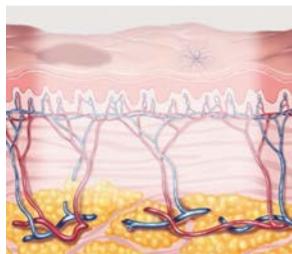
# タカミクリニック式 フォトフェイシャル(M22)

フォトフェイシャル®は、医療機関でしか受けられない美容医療で、肌全体にIPLと呼ばれる光を照射することにより、メラニンや毛細血管にダメージを与えたり、コラーゲンの生成を活性化させることで、シミ、くすみ、肌の色ムラ、毛穴目立ちなど様々な肌トラブルを改善していく治療です。

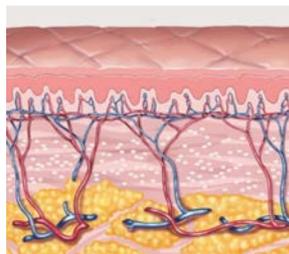
タカミクリニック式フォトフェイシャルは、「美肌計画書」を用いたカウンセリングからスタートします。そして、医師がシミの種類や状態、肌質に加え、透明感を阻害している要因を見極め、治療プログラムを決定します。



## フォトフェイシャルM22のメカニズム



顔全体に照射した光は、肌トラブルの原因となるターゲット（メラニンや毛細血管など）に当たると、光のエネルギーが熱に変わり、ターゲットにダメージを与えます。



皮膚の代謝によりシミやくすみ、赤みが改善していきます。光によって肌が活性化し、肌老化の症状も改善しキメが整います。

## 効果

シミ・そばかす・薄ジミ改善

くすみ改善・シミ予備軍対策

ハリ・弾力・ツヤアップ

赤ら顔改善

毛穴目立ちの改善

小じわ改善

## 1.安全かつ、確かな効果「タカミクリニック式フォトフェイシャル」

フォトフェイシャルであれば、治療効果はどこで受けても同じではありません。

治療に使用する医療機器の性能やスペックが優れていることが大前提ですが、その機器が持つ力を十分に活かせるかどうかは、医師の診断力と、施術者の技術レベルの高さや症例経験によって雲泥の差が出ます。

「タカミクリニック式フォトフェイシャル」では、長年の施術経験で培われたノウハウをもとに、波長や光の出方、エネルギーを安全でありながらも最大限の効果が引き出せるよう、患者さま一人ひとりのお肌に合わせて選択し、1回の照射で確かな効果を実感いただいております。

### シミにしっかり効かせて美肌を底上げする「トリプル照射」

医師が毎回肌状態を拝見し、その日の照射プログラムを決定。①シミの改善、②シミ以外に改善すべき肌トラブル、③局所症状に対するスポット照射と、シミ症状や肌状態に合わせ3回（※）重ねて照射します。



※肌状態や目的によっては、2・3パス目を行わない場合があります。

## 2.信頼性のある安全な機器を使用

厚生労働省より薬事承認を受けている医療機器「フォトフェイシャルM22」を使用。フォトフェイシャルM22は、IPL治療(光治療)のパイオニア、米国ルミナス社の新型フォトフェイシャルです。



### レーザー治療とは違う「フォトフェイシャルM22」のメリット

#### 顔全体の色調と総合的な肌トラブルを改善

限られた波長域を持つレーザー光とは異なり、幅広い波長域を含むため、シミ、赤ら顔、小じわ、毛穴の開きなど様々な症状に同時に効果を発揮します。また、レーザー治療のように部分的ではなく顔全体に照射するため、顔全体の色調の改善と総合的な肌トラブルの改善が叶います。

#### ダウンタイムがほとんどない

レーザー治療のように、施術後テープを貼って保護する必要がなく、施術後からメイクが可能です。

#### 麻酔不要

レーザー治療は痛みが強く麻酔が必要ですが、フォトフェイシャルは輪ゴムではじいたような痛みのため麻酔が不要です。

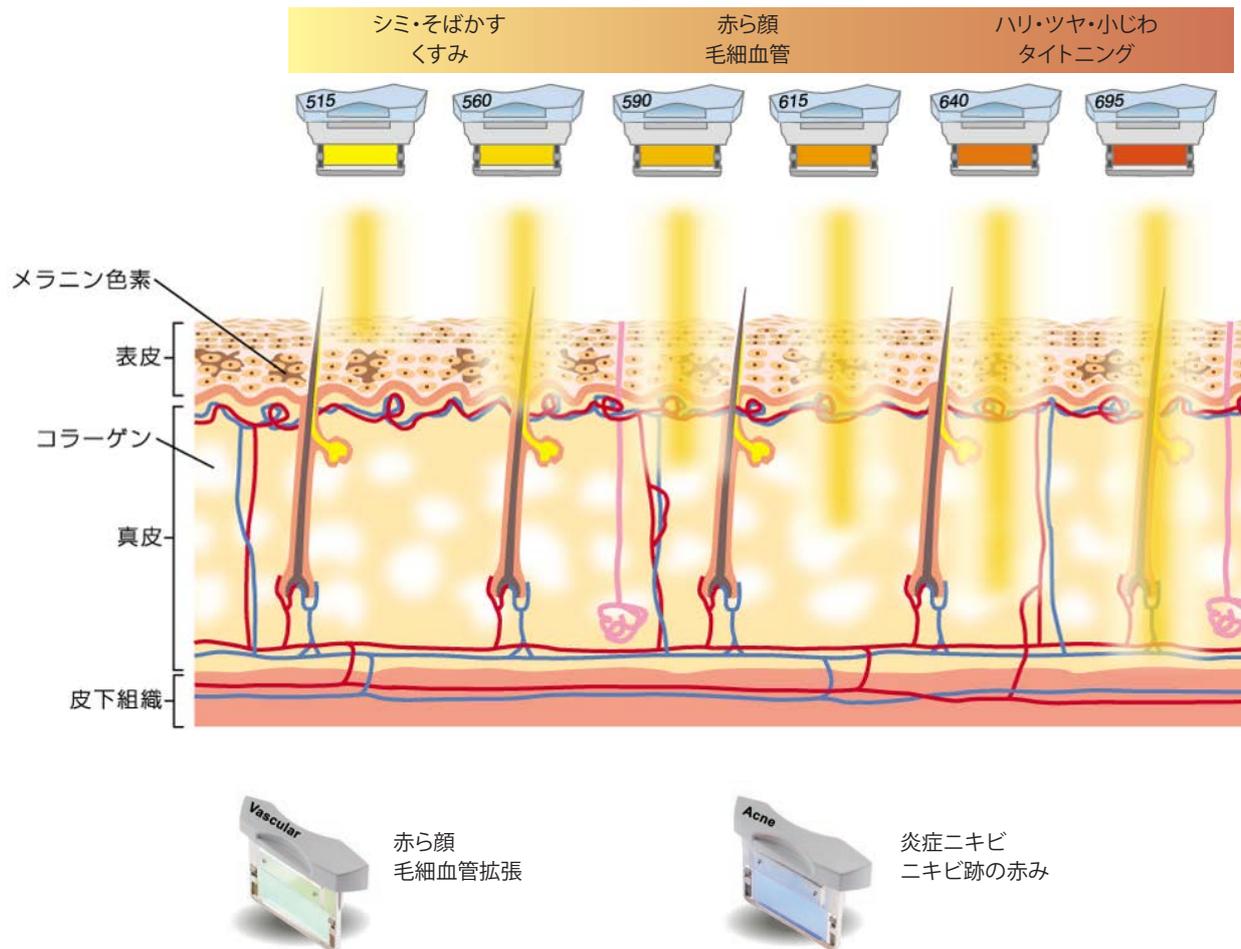
## 特 長

### 「フォトフェイシャルM22」と「しみレーザー」の違い

	波長	適応	痛み	術後	回数	副作用
フォトフェイシャル	様々な波長が含まれたマイルドな光 (IPL)	シミ、くすみ、赤ら顔、弾力低下など、顔全体の様々なトラブル	輪ゴムではじかれた痛み	施術後すぐにメイク可能	基本的に、複数回の施術が必要	術後数時間の赤み、ヒリヒリ感
しみレーザー	単一の光	ターゲットとするシミのみ	強い痛み (要麻酔)	一定期間、絆創膏など保護が必要	1回の施術	ダウンタイムが長い・炎症後色素沈着

### 3.シミだけにとどまらず、総合的にアプローチする「8種の波長」

当院では、フォトフェイシャルM22通常搭載の5種の波長に加え、「シミ部分照射用」「赤ら顔・血管専用」「ニキビ専用」のフィルターを追加採用。表皮、真皮、皮下組織まで届く8種の波長は、それぞれ不要な波長をカットしてあるため、的確にターゲットに熱を与えることができます。肌状態に合わせてフィルターを選択するため、表面のシミや深いシミ、肌の赤みなど、素肌を傷つけることなく、一人ひとりの症状、肌質、肌の色に合わせたオーダーメイドの治療が可能です。



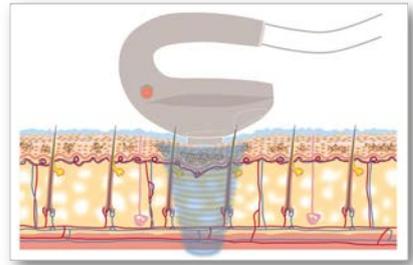
#### 4.シミへのアプローチを強化「3種のライトガイド(照射面)」

お肌に当たるライトガイド(照射面)は、3種のサイズを用意。顔全体など広範囲の部位をスピーディに照射できるサイズから、シミの部分照射に使用する直径6mmの小さいサイズまで、治療目的や部位に合わせて3種類を使い分けることで、きめ細やかな治療が行えます。



#### 5.冷却機能が進化、より痛みの少ない治療に

皮膚に触れる照射面(サファイヤガラス)が、肌を5°Cに冷却しながら照射を行うコンタクトクーリング搭載のため、肌へのダメージと痛みが最小限に抑えられます。



#### 6.効果を高めるための「スキンケア指導」

シミを悪化させない、増やさないためには、日常のスキンケアが重要な役割を担っています。当院では、医師の目が届きにくい日常のスキンケアも、シミ治療の一環と捉え、患者様一人ひとりへのスキンケア指導を行っています。

### 症例写真



【術前】



【7回照射後】

## 施術の流れ

- 1 診 察** 医師が診察を行い、症状やお肌状態を拝見して、施術内容を決定します。
- 2 洗 顔** クレンジングと洗顔を行い、メイクや皮脂などを十分に落としていただきます。アクセサリーなどの貴金属類も外していただきます。
- 3 撮 影** 術前のお写真を撮影します。
- 4 処 置** 一人ひとりのお肌に合わせた波長、エネルギー量をカスタマイズし、ジェルの上からIPL光線を顔全体にまんべんなく照射します。通常、およそ20分の照射となります。照射後、ジェルを拭き取ります。
- 5 冷 却** 冷却します。
- 6 施術終了** 洗顔、スキンケア後、メイクをしてお帰りいただけます。

## 施術のペース

3～4週間に1回で、3～5回を1クール、その後はお肌の状態に合わせて月1回ペースで継続するか、照射期間を少し空けて2～3ヶ月に1度、定期的にメンテナンスする事をおすすめしています。

## ダウンタイム

□処置後は反応部位のしみ・そばかす・ほくろが濃くなり、2、3日でマイクロラスタ（薄いかさぶたのような状態）になることがあります。マイクロラスタは1～2週間前後で自然にはがれ落ちます。反応してもかさぶたにならなかったしみは1～2ヶ月かけてゆっくり薄くなる経過を辿ります。

□処置後に赤みや、ヒリヒリ感がでることがありますが、これらの症状は2～3日で治まります。

## 料金

部位	所要時間	初 回	1 回	3回コース	5回コース	5回コース (2クール目以降)
顔全体	30分	<b>28,000円</b>	44,000円	118,800円 (1回あたり39,600円)	176,000円 (1回あたり35,200円)	154,000円 (1回あたり30,800円)
手の甲(両側)	5分	—	33,000円	89,100円 (1回あたり29,700円)	132,000円 (1回あたり26,400円)	115,500円 (1回あたり23,100円)
デコルテ	30分	—	44,000円	118,800円 (1回あたり39,600円)	176,000円 (1回あたり35,200円)	154,000円 (1回あたり30,800円)
背中	30分	—	44,000円	118,800円 (1回あたり39,600円)	176,000円 (1回あたり35,200円)	154,000円 (1回あたり30,800円)
前腕(片側)	30分	—	44,000円	118,800円 (1回あたり39,600円)	176,000円 (1回あたり35,200円)	154,000円 (1回あたり30,800円)
1ショット (1.5cm×3.5cm)		—	5,500円	—	—	—

【オプション】CICAマスク 5,500円 SRSマスク 4,400円

- ・コースは1年間有効です。(ボディ部位の5回コースのみ1年半有効です)
- ・ボディ部位は照射範囲によって金額が変動する場合があります。
- ・当院は全て税込価格表記となります。

## 禁忌事項

- 妊娠中の方、コントロール不良の糖尿病の方、心臓病の方、ケロイド既往の方
- 日焼けをしている方、日焼けをする予定のある方 ※火傷のリスクがあります  
(1カ月以内に積極的な日焼け、海、山、日焼けサロン等 )
- 光刺激により反応する疾患(てんかん、偏頭痛等)の既往のある方、眼科疾患のある方
- 極度の肌荒れ、アトピー性皮膚炎等の炎症発症時の方
- お顔に金の糸や金属類を挿入されている方
- 顔にプロテーゼを挿入している方  
※熱による変形や、プロテーゼのずれが生じる可能性を承諾した場合のみ、照射が可能です。
- 近日中にレーザー・光治療・脱毛を施術部位にされた方

## 注意確認事項

- 入浴や洗顔、メイク等は当日から可能です。
- 処置後は一時的に乾燥しやすくなる為、十分な保湿を行ってください。
- 白い肌を保っていただいたほうが効果的です。フォトフェイシャル施術前後に日焼けをしてしまった場合、施術を受けて頂けない場合がございます。(施術が可能かは医師の判断となります。日常的にSPF35・PA++以上の日焼け止めをご使用ください。
- 照射後、最低1週間は紫外線の強い所へのお出かけをお控えください。(ゴルフ、海水浴、海外、登山等)
- シミへの反応の度合いは肌やシミの状態によって異なります。また、治療の回数を重ねるうちに反応するメラニンの量は減っていくため、反応が徐々に弱くなっていくことが予想されます。
- 照射後の色素沈着予防、肝斑誘発及びシミの再発防止のため、また、フォトフェイシャルにて濃くなるシミもあるため、内服薬・外用薬の併用を推奨します。
- ごく稀に、潜在的肝斑がある場合は照射後に浮き出てくる場合がございます。
- 稀にフォトフェイシャル照射後に白ニキビができる可能性がございます。一時的なもので数日の内に治まりますが、症状が出た場合はニキビの外用薬を処方することも可能です。(別途薬品代が発生します。)
- ロアキュタン(ニキビ治療薬) その他ビタミンA誘導体による治療中の方、および治療終了後6ヶ月未満の方はお申し出ください。
- 高血圧の方はお申し出ください。



< before >



< after >



< before >



< after >